

■大伴家持 歌人、軍人、政治家。軍事を担当しながら、「抵抗の人生」を送り、「万葉集」の編纂者となった。

おおとものやかもち

行基活動禁圧 717= 生、_旅人の長男。

藤原不比等没 720= 3歳：

行基山崎橋・ 726= 9歳：

長屋王の変・ 729=12歳：

_早くから和歌の才能を発揮、

風土記完了・ 733=16歳：初月の歌。

真備玄昉帰国 735=18歳：

・・・・・・ 736=19歳：秋の歌。

藤原四卿没・ 737=20歳：

橘諸兄右大臣 738=21歳：述懐の歌。この年以降の橘諸兄政権下に内舍人として出身し、

・・・・・・ 739=22歳：亡妾を悲傷する歌、竹田庄の歌。

藤原広嗣の乱 740=23歳：坂上大嬢に贈る歌。

国分寺建立詔 741=24歳：贈答歌多数。

大仏造立の詔 743=26歳：秋の歌、鹿鳴の歌、久邇京を讃める歌。

・・・・・・ 744=27歳：

行基初大僧正 745=28歳：従五位下に叙される。

・・・・・・ 746=29歳：宮内少輔、_越中守に任ぜられ、

_この間、作歌多数。

懐風藻・・・・ 751=34歳：_少納言となり、帰京。

大仏開眼・・・・ 752=35歳：

・・・・・・ 753=36歳：この年、*「万葉集」最初の編集作業を開始。

鑑真来日・・・・ 754=37歳：_兵部少輔となり、防人の事務をつかさどる。

_この間、作歌多数。

聖武天皇没・ 756=39歳：

橘奈良麻呂乱 757=40歳：兵部大輔、右中弁。_橘奈良麻呂の乱に直接関与しなかったものの、一族の有力者が参加していたため、

孝謙天皇讓位 758=41歳：藤原朝臣仲麻呂によって、_因幡守に左遷される。

万葉集最終歌 759=42歳：*「万葉集」最末尾の歌であり、また家持作として知られる最後の歌を詠む。家持のその後の作歌の伝わらない理由は、橘朝臣奈良麻呂の乱の影響であろうと考えられている。

新羅征討計画 762=45歳：_信部(中務)大輔に任ぜられたが、仲麻呂の専横に反対する藤原良継の変に連坐し、

押勝暗殺計画 763=46歳：_薩摩守に左遷された。恵美押勝の乱には、遠く薩摩国にあって、勲功をたてる機会に恵まれず、

恵美押勝の乱 764=47歳：

その後、現地にとどまって、大宰少弐・民部少輔・左中弁兼中務大輔を歴任し、

宇佐八幡神託 769=52歳：

光仁朝になって、

東大寺完成・ 771=54歳：_ようやく京官に戻り、従四位下に昇叙される。

さらに式部員外大輔兼相模守・左京大夫兼上総守・衛門督・伊勢守となり、

・・・・・・ 778=61歳：正四位下に叙せられ、

蝦夷大反乱・ 780=63歳：*参議となり、公卿の末席に連なる。

桓武天皇即位 781=64歳：右京大夫・春宮大夫を兼ね、桓武天皇の大嘗祭に際し、従三位となった。

万葉集完成・ 782=65歳：_氷上川継に連座して任を解かれたが、参議春宮大夫に復し、陸奥按察使鎮守將軍を兼ねて多賀城に赴き、

・・・・・・ 783=66歳：_中納言に昇り、

長岡京造営始 784=67歳：_持節征東將軍に任命された。

藤原種継暗殺 785=68歳：*陸奥国の多賀・階上の2郡の建置を朝廷に申請し、許可された後、多賀城で没した。

遺骸をまだ埋葬しないうちに、長岡京造営の責任者藤原種継射殺事件が起こり、その主謀者であるとして除名され、一切の私財を没収され、子の永主は隠岐国に流罪となった。のち、桓武崩御の日に遺詔によって従三位に復された。妻は従姉妹の大伴坂上大嬢。